

2022年4月のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について

2022年5月27日



1. 2022年4月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

◆ 概況：
 ・板： 生産はプラス、出荷はマイナス。半導体製造装置向け厚板を含む「その他」はプラスだったが、「缶材」「自動車」「はく地」は出荷減となった。
 ・押出： 生産・出荷ともにマイナス。最大用途の建設向けが「サッシ」「内外装」とともにマイナスに転じた。
 ・はく： 生産・出荷ともにマイナス。需要をけん引してきた「電気機械器具」向けがマイナスとなった。

・板類（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

(1) 缶材 36,399トﾝ (▲ 6.1%)： 外食機会が増える一方で家飲み需要は減少したことなどから、6ヶ月ぶりに前年比を下回った。

(2) 自動車 14,267トﾝ (▲ 15.3%)： 主に半導体の供給不足により、自動車生産の減少が継続している。

(国内自動車生産台数の前年同月比推移：12月▲5.5%→1月▲20.4%→2月▲1.6%→3月▲17.3%)

・押出類（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

(1) 建設 35,417トﾝ (▲ 1.0%)： 住宅着工戸数はプラスだったものの、アルミ使用比率の低下により、前年比マイナスとなった。

2022年3月の住宅着工戸数：76,120戸（前年同月比+6.0%）

(2) 自動車 9,936トﾝ (▲ 14.0%)： 板同様、国内自動車生産台数の減少によりマイナスが続いている。

・はく（主な分野のコメント） * 数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

(1) 電気機械器具 5,644トﾝ (▲ 13.6%)： コンデンサー向け、リチウムイオン電池向けともにマイナスとなった。

(コンデンサー向け： ▲3.2%、リチウムイオン電池向け： ▲27.7%)

(2) 食料品 1,940トﾝ (▲ 6.1%)： レトルトパウチ等でアルミ箔構成から、フィルム構成へ移行が起きている影響もあり、前年比減となった。

◎2022年4月実績 生産および出荷（前年同月比、▲はマイナス）

	生産 (トン)	前年同月比 (%)	コメント		出荷 (トン)	前年同月比 (%)	コメント
板類	106,217	0.1	6ヶ月連続でプラス	板類	102,868	▲ 3.1	4ヶ月ぶりにマイナス
押出類	58,131	▲ 4.4	4ヶ月連続でマイナス	押出類	59,068	▲ 3.9	2ヶ月連続でマイナス
板押計	164,348	▲ 1.5	6ヶ月ぶりにマイナス	板押計	161,936	▲ 3.4	2ヶ月連続でマイナス
はく	9,525	▲ 12.5	2ヶ月連続でマイナス	はく	9,792	▲ 11.9	2ヶ月連続でマイナス